

地域公共交通の方針（案）について

方針 市民の移動に資する総合的な交通体系 / 自家用車と公共交通の役割分担

将来に向けて、市民の誰もが日常的な移動に困らない交通体系をつくる。

多くの市民は自家用車等を利用した移動を行っているので、自家用車での移動しやすさを維持していく。

一方で、自家用車での移動がしにくい高齢者や若年層を主な対象として、公共交通の充実を図る。また、障がい者等に対しては、障がい者の特性にあわせた移動手段の検討を行う。

自家用車と公共交通の役割分担を踏まえ、対象者とエリアの特性を踏まえた公共交通体系を検討し、総合的な交通体系を構築する。

また、上記の主な対象に対して、現状の移動に適したルート等を提供する。

< 誰もが移動に困らない交通体系 >

	市街地	郊外
高齢者(自ら運転しない)	市街地に適した公共交通	郊外に適した交通
高校生など(自ら運転しない)		
障がい者	障がい者が移動しやすい交通機関	
一般の市民	自家用車	

現状の市民の移動に適したルート等

- ・通勤・通学を目的にした移動（駅や高校等へアクセスするルート）
- ・買い物を目的にした移動（商業施設を巡るルート）
- ・通院を目的にした移動（病院等を巡るルート） など

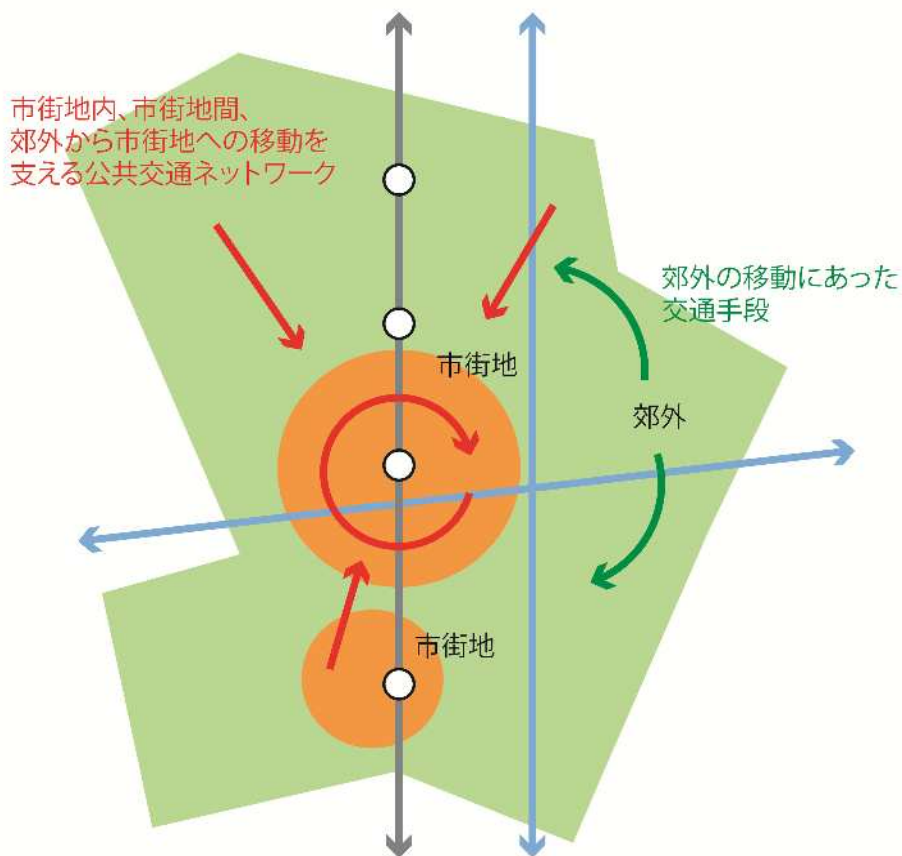
方針 コンパクトシティを支える公共交通 / 市街地を中心とした公共交通ネットワーク

総合計画では、コンパクトな市街地整備の推進を示しており、市街地では現在の人口集積を維持し、公共公益施設等の都市機能の維持・充実を図り、一方で、郊外においてはゆとりある居住環境等を実現していく。

このようなコンパクトシティを実現するために、市街地内の移動や郊外から市街地への移動を支える骨格的な公共交通ネットワークの構築をめざす。

また、郊外においても、郊外にあった移動手段を備えるような交通施策を進める。

<コンパクトシティと公共交通ネットワークの考え方>



方針 多様な公共交通機関の組合せ / 地域特性にあわせた公共交通機関の組合せ

下妻市には広域的な公共交通として、関東鉄道常総線や土浦市やつくば市方面への関鉄パールバスがある。また、市街地と郊外など、地域特性を踏まえた地域公共交通の充実も求められる。

地域公共交通の種類は多様である（次ページ参照）。広域的な公共交通、地域特性を踏まえた地域公共交通など、多様な公共交通機関の組合せと連携により、利便性の高い公共交通体系を構築する。

方針 持続性の高い公共交通 / 採算性を考慮した公共交通事業

市政においては、より効率的な公的資金の活用が求められることから、公共交通の事業を実施する上では、財政的に継続性のあるスキームの構築が求められる。

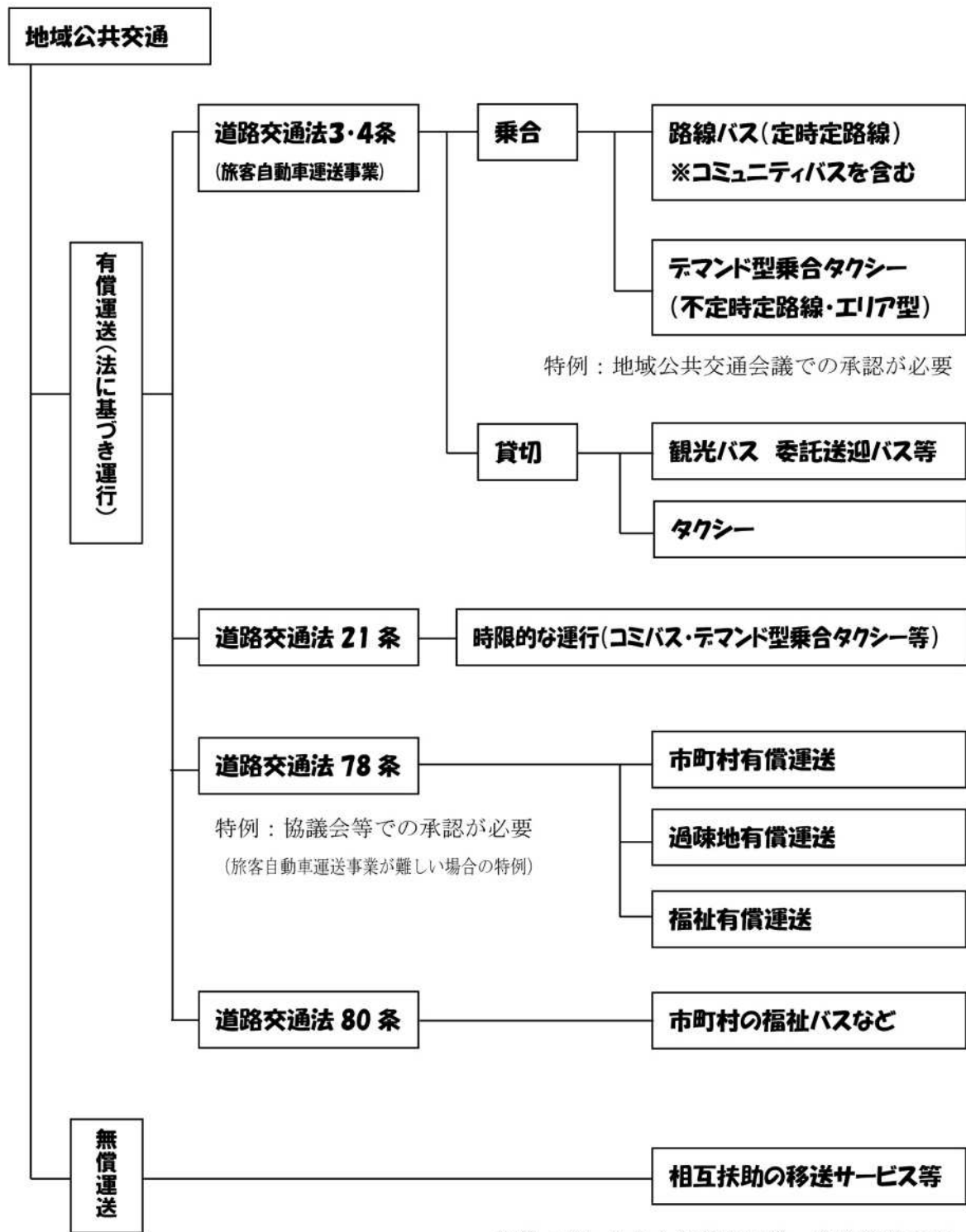
市民の利便性の視点も重視しつつ、事業の採算性等に照らし合わせて、実現性の高い事業を構築する。また、継続的にモニタリングを行い、改良や見直しを行っていく。

方針 公共交通をみんなで支える仕組みづくり / 公共交通を支える体制づくり

交通事業者の努力だけでは利用や採算性の確保は難しい。市民、地域団体、企業などの多様な主体が連携・協力して公共交通を支える仕組みづくりを推進する。

社会基盤として公共交通を導入・維持するための各主体の役割を明確にし、取り組んで行く。

< 地域公共交通の種類 >



無償 又は みなし無償の場合、免許等が不要